

地域計画

策定年月日	令和7年4月1日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	松阪市 24204
地域名 (地域内農業集落名)	嬉野上野町 (嬉野上野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	14 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	14 ha
② 田の面積	12 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1 ha
(参考)区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

田んぼについて、担い手が大半を管理しているが、畑については耕作者が減ってきていて、今後の管理が心配である。
上野町の土壌は、畑の野菜作りに適した土壌と言える。
所有者が亡くなった場合は、遠く離れた地に住む親族に相続権が生じるが、遠く離れているため、維持管理が困難で、相続した親族は維持管理するよりも手放してしまうことを考えていることが多い。
太陽光発電設備を設定してあるところも点在していて、虫食いみたいになっている。
獣害がだんだんと報告が増えてきているので、今後は獣害について、自治会で対策を検討していく必要がある。
用水路、ため池、ポンプ等の設備が老朽化しているので、費用が問題となっている。
農地の管理には新規参入をする人が増えないと難しいが、農業で利益を出すのは難しいこと、機械や設備、制度が個人農業者にとってはハードルが高いように感じることから、新規参入が難しい。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

行政も農業に新規参入がしやすくなるように、農業のすばらしさを伝えたり、農業人を育てていく仕組みを整備して、農業に携わる人を増やしていく必要がある。
現在管理してもらっているほ場に関しては、引き続き、担い手に管理をお願いしていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現状管理をお願いしている担い手に今後も管理をお願いしていく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	85	%	将来の目標とする集積率
			90 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現時点で、一つの担い手が農地の管理を一手に引き受けて行っているため、今後も引き続きの管理をお願いしていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積・集団化の取組
現時点で、地区内の農地の大半に対して、集積・集約化が行われているが、今後、新しく農地の管理に関する話が有る場合は、既存の担い手をお願いしていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地の大半に関しては、中間管理機構を通して農地の集積・集約化がなされているが、今後も担い手の経営意向に沿った、農地の集積・集約化を引き続き行っていく。
(3)基盤整備事業への取組
現時点では特になし。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現時点ではそれぞれの担い手がそれぞれJAと関わっているので、今後も、それぞれがJAと関わっていく予定である。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①今後の獣害の被害に応じて、防護柵設置等を行い、被害の拡大を防ぎ、集落のほ場を守っていくことを検討していく。
- ③ドローン等のスマート機器を活用した農業を取り入れていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	A	水稲・麦・飼料用米等	12.5 ha	ha	水稲・麦・飼料用米等	12.5 ha	ha	黄緑	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		12.5 ha	0 ha		12.5 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。